

第3回 阿佐東線DMV導入協議会

平成30年3月20日(火) 16:00～
徳島県建設センター 3F 菊の間

【議事】

- ①これまでの取組み
 - ・「DMV導入」の目的
 - ・DMVの運行区間
 - ・車両の製作台数
 - ・スケジュールと概算事業費
 - ・これまでの委員の意見
- ②今後の取組み
 - ・車両製作
 - ・駅舎改築
 - ・信号設備等(JR牟岐線・阿佐東線)
 - ・バスモードの検討
 - ・機運の醸成(DMVイベント)



①これまでの取組み

阿佐東線への「DMV導入」の目的

① 阿佐東地域の活性化に貢献

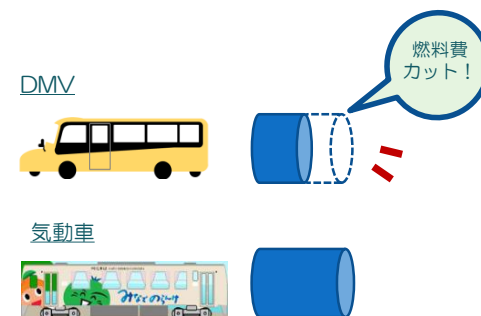
- DMVは、「車両自体が観光資源」となることから、「新たな人の流れ」をつくり観光振興に大きく寄与



② 地域公共交通の維持・充実に貢献

(1) 阿佐海岸鉄道(株)の経営改善

DMVは、現行のディーゼル車と比較し燃費が良く、維持費の削減に期待



(2) シームレスな交通体系の実現

鉄道とバスのシームレスな交通体系の構築は、高齢化が進む阿佐東地域に、最適



③ 防災面の強化

DMVは、「南海トラフ巨大地震」などの大規模災害発生時において、残った線路と道路をつなぐことで「交通機能の維持」が図れ、被災者支援をいち早く行うことが可能

これまでの取組み① <DMVの運行区間(鉄道・バス)>

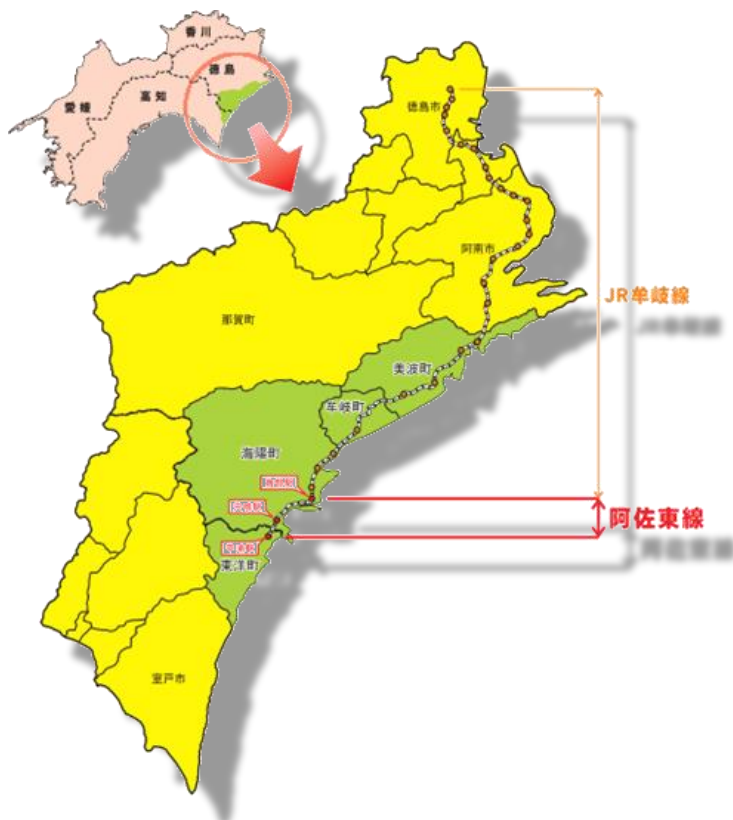
<鉄道運行>

- ・鉄道部の運行区間としては、「**阿波海南駅**」―「**甲浦駅**」間とする
- ・「阿波海南駅」と「甲浦駅」に「**接続施設**」を整備する

※途中駅となる「海部駅」「宍喰駅」(共に高架駅)には、「**接続施設**」は設けない

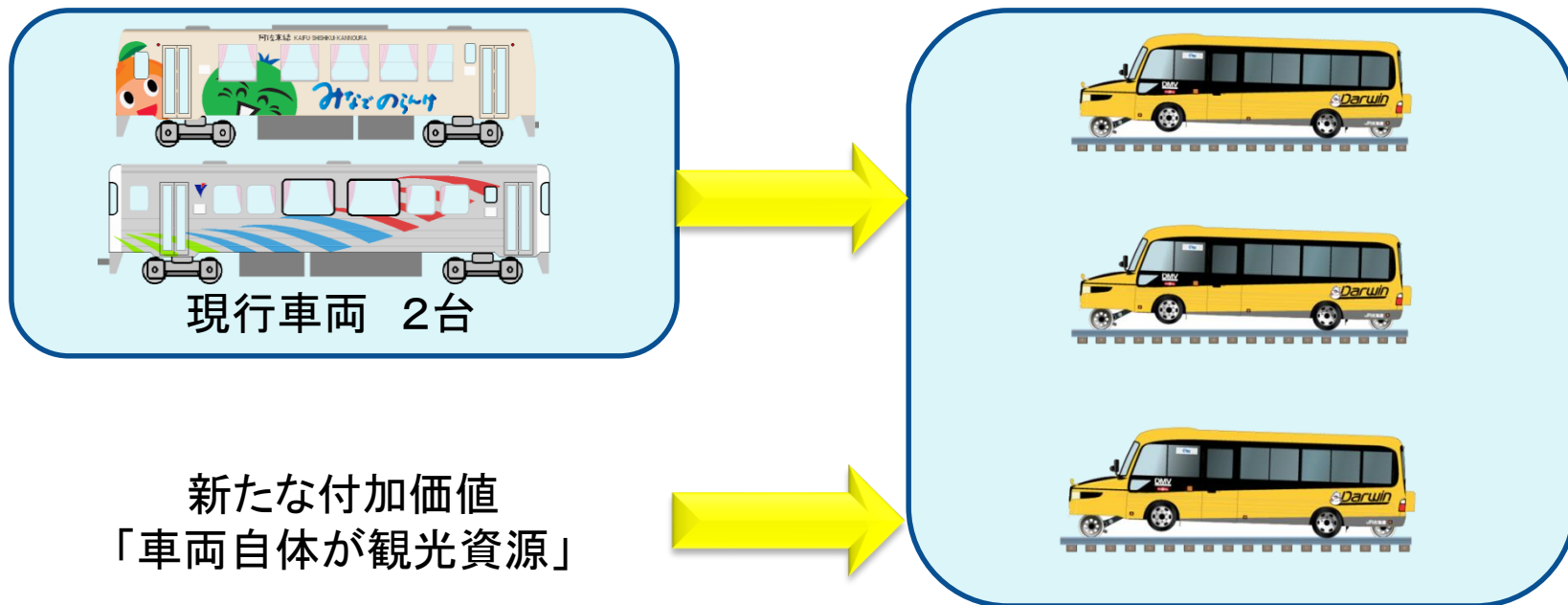
<バス運行>

- ・道路部の運行については、まずは「**周遊観光**」や「**イベント利用**」などの「**観光用途**」での運行を目指す
(当面の運行主体は、地元バス会社へ運行委託を想定)
- ・路線バスなどその他の用途については、今後、検討を進めていく



これまでの取組み② <車両の製作台数>

- ・現行ディーゼル車両(2台)の更新、更に新たな付加価値として、「観光用途」での活用を行うため、DMV車両を3台調達



当面の計画としては、合計3台のDMV車両を調達する

これまでの取組み③ <DMV導入スケジュールと概算事業費>

- ・「車両製作」は、平成29年度に発注し、平成31年度までに3台の完成を目指す
- ・「駅舎の改築」「信号設備の整備」は、「車両製作」と並行して実施
- ・運行開始を見据え、実車を使った「イベント」を実施し、地元の受け入れ体制を構築
- ・関係自治体は、平成29年度以降、所要事業費の予算要求を行う

H29.1月末現在

項目	概算事業費	2017年度 (平成29年度)	2018年度 (平成30年度)	2019年度 (平成31年度)	2020年度 (平成32年度)
車両製作	約3.6億円		車両製作	試験走行 法令手続きなど	東京オリンピック・パラリンピック 運行開始
駅舎の改築 (接続施設・ホーム等)	約2.8億円	詳細設計	本工事		
信号設備等 の整備 (阿佐東線・JR牟岐線)	約3.6億円	検討・設計など	施設整備		
受け入れ体制の構築 (DMVイベント)	—	DMV わくわくイベント		DMV運行直前 カウントダウンイベント	

目標：「東京オリンピック・パラリンピック」までの運行を目指す

これまでの委員の意見

徳島県

- ・ インバウンドが最高潮となる「東京オリ・パラ」までの運行開始を目指す。
- ・ 前例のない「世界初」の技術であり、不測の事態の際にはこの協議会で解決を図る。

高知県

- ・ DMVは、地域の振興に大きく期待。
- ・ 経済効果の最大化が必要。

海陽町

- ・ DMVへのチャレンジは、全国の注目を集めている。
- ・ 四国の右下を全国に売り出すチャンス。
- ・ 地元の受け入れ体制の構築が大事。

東洋町

- ・ DMVは、「新たな人の流れ」をつくるものと期待。
- ・ 運行にあたっては、地元の観光資源（サーフィン等）とタイアップしてもらいたい。

牟岐町

- ・ DMVは、地位の観光振興に資するもの。
- ・ 車両製作にあたっては、「世界初」のインパクトが伝わるものにしてもらいたい。

②今後の取組み

現状と今後の予定

「車両製作」の現状と今後の予定

○スケジュール

目	概算事業費	2017年度 (平成29年度)	2018年度 (平成30年度)	2019年度 (平成31年度)	2020年度 (平成32年度)
車両製作	約3.6億円		デザイン公募 車両製作	試験走行 法令手続きなど	運行開始 東京・パラ

○現状

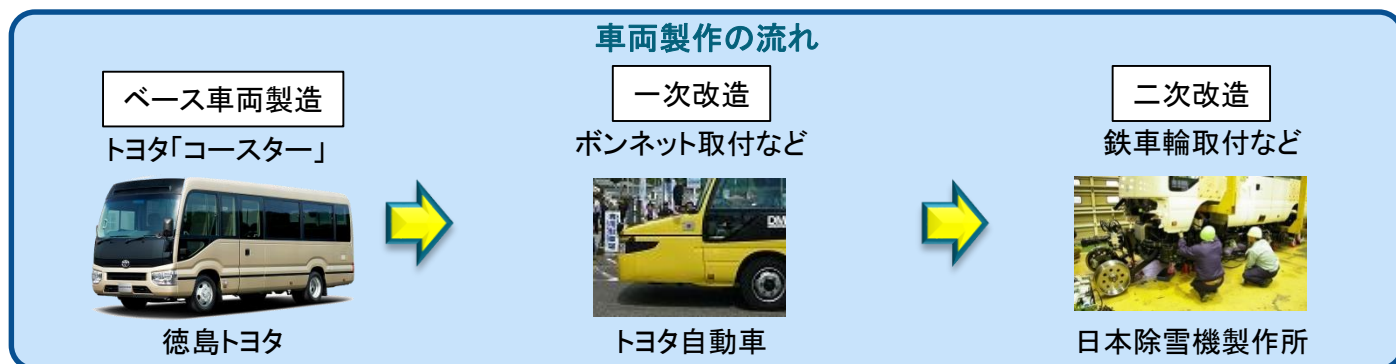
- ・ベース車両製作の発注・納車
- ・1台目の一次改造(トヨタ自動車)、二次改造(日本除雪機製作所)を発注し、現在、製作中

○今後の予定

- ・「機運喚起」や「PR」の観点から車両の「愛称」「車体の色」「ラッピング」について公募を実施
- ・平成30年内の1台目完成を目指す
- ・1台目の完成に引き続き、平成30年度内に、2台目、3台目の発注を行う



ベース車・納車検査の様子



「駅舎改築」の現状と今後の予定

○スケジュール

項目	概算事業費	2017年度 (平成29年度)	2018年度 (平成30年度)	2019年度 (平成31年度)	2020年度 (平成32年度)
駅舎の改築 (接続施設・ホーム等)	約2.8億円	詳細設計	本工事	(試験走行)	運行開始 東京・パラ

○現状

- ・鉄道事業法の手続き(許認可)に向けた協議を実施
- ・本工事に向けた詳細設計を発注し、実施中

○今後の予定

- ・詳細設計完了後、
まずは甲浦駅の坂路(線路と道路の接続施設)に着手
- ・阿波海南駅、甲浦駅の「モードチェンジ」、及び海部駅、穴喰駅の「DMV用駅ホーム」は、平成31年度に整備



甲浦駅



「信号設備等」の現状と今後の予定

○スケジュール

項目	概算事業費	2017年度 (平成29年度)	2018年度 (平成30年度)	2019年度 (平成31年度)	2020年度 (平成32年度)
信号設備等の整備 (阿佐東線・JR牟岐線)	約3.6億円	検討・設計など	施設整備	(試験走行)	運行開始 東京オリパラ

○現状

- ・「自動列車停止機能(ATS)」や「車内信号設備」など、DMVの安全運行に必要な「DMV運転保安システム」の整備に向け、関連企業と調整中
- ・JR牟岐線(阿波海南駅－海部駅間)の阿佐東線への編入に向け、JR四国や国土交通省と協議中

○今後の予定

- ・「DMV運転保安システム」の整備に着手
- ・JR牟岐線(阿波海南駅－海部駅間)の阿佐東線への編入に向け、鉄道事業法をはじめとした法令手続きを進める



「バスモードの検討」の現状と今後の予定

○スケジュール

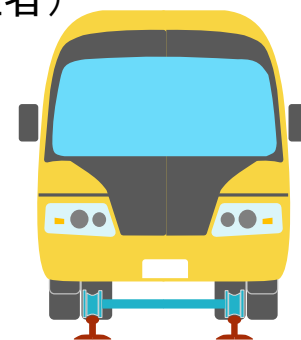
項目	概算事業費	2017年度 (平成29年度)	2018年度 (平成30年度)	2019年度 (平成31年度)	2020年度 (平成32年度)
バスモードの検討	—	運行計画 検討	「関係自治体」「既存事業者」 などとの調整	事業者 事業計画 策定	事業申請 → 認可 運行開始 東京・パラ

○現状

- ・運転士の補強(6名体制⇒7名体制)を実施
- ・運行計画(運行エリア、運行ダイヤなど)を検討中

○今後の予定

- ・DMVの導入効果を発揮するためには、バスモードの利活用がカギを握るため、関連自治体や既存事業者(バス事業者、タクシー事業者)のほか、地元住民や観光事業者などに参加頂き、「バス運行ルート」や「運行形態」を検討し、「地域公共交通会議」に諮る
- ・阿佐海岸鉄道における運行体制の整備(2種免許の取得、整備管理士、運行管理者)
(阿佐海岸鉄道による「バスモード運行」を目指す)



「機運の醸成」の現状と今後の予定

○スケジュール

項目	概算事業費	2017年度 (平成29年度)	2018年度 (平成30年度)	2019年度 (平成31年度)	2020年度 (平成32年度)
機運の醸成 (DMVイベント)	—	DMV わくわくイベント	DMVわくわくイベント (継続)	DMV運行直前 カウントダウンイベント	東京 オリ・パラ 運行開始

○現状

- ・昨年7月から「DMVわくわくイベント」と称し、阿佐東地域を中心に車両の試乗会や展示会を実施
これまで18イベントで、2万人以上の方が参加

○今後の予定

- ・平成30年度は、「DMVわくわくイベント」を広域的なエリアに拡大して実施
- ・「機運喚起」の観点から車両の「愛称」等を実施(再掲)、完成車両を広くPR



平成30年度の実施内容(まとめ)

○車両製作

- ・「愛称」「車体の色」「ラッピング」について公募を実施
- ・年内に1台目完成を目指し、引き続き、2台目、3台目を発注



ラッピングのイメージ図

○信号設備等

- ・「DMV運転保安システム」の整備に着手
- ・JR牟岐線(阿波海南駅-海部駅間)の阿佐東線への編入に向けた法令手続きを進める

○バスモードの検討

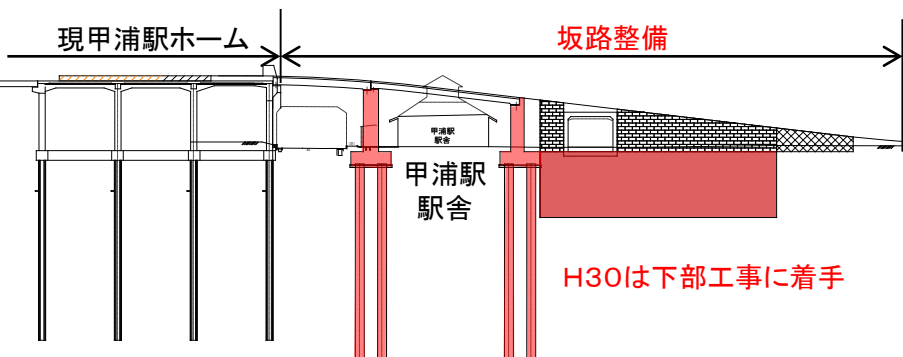
- ・関連自治体や既存事業者(バス事業者など)のほか、地元住民や観光事業者などに参加頂き、「バス運行ルート」や「運行形態」を検討



バスモードのイメージ図

○駅舎改築

- ・詳細設計完了後、甲浦駅の坂路(線路と道路の接続施設)の下部(橋脚など)工事に着手



甲浦駅坂路縦断面図

○機運の醸成(DMVイベント)

- ・「DMVわくわくイベント」を広域的なエリアに拡大して実施



徳島ヴォルティス
試合会場での活用
のイメージ図

今後の予定(まとめ)

次回(第4回・同協議会)の開催は、2018年度の秋頃に開催し、
 ・公募した車両の「愛称」や「カラーリング」「ラッピング」などを発表
 ・「バス事業計画(案)」に対する議論
 などを実施する

(赤字:今回修正箇所)

H30.2月末現在

項目	概算事業費	2017年度 (平成29年度)	2018年度 (平成30年度)	2019年度 (平成31年度)	2020年度 (平成32年度)	
車両製作	約3.6億円		デザイン公募 車両製作	試験走行 法令手続きなど	東京オリンピック・パラリンピック 運行開始	
駅舎の改築 (接続施設・ホーム等)	約2.8億円	詳細設計	本工事			
信号設備等 の整備 (阿佐東線・JR牟岐線)	約3.6億円	検討・設計など	施設整備			
バスモードの検討	—	運行計画 検討	「関係自治体」「既存事業者」 などとの調整	事業計画 策定		事業申請 → 認可
機運の醸成 (DMVイベント)	—	DMV わくわくイベント	DMVわくわくイベント (継続)	DMV運行直前 カウントダウンイベント		

目標：「東京オリンピック・パラリンピック」までの運行を目指す